



2019年度冬期検証に関する申し入れ交渉報告

申25号団体交渉8月25日開催！

昨冬の輸送障害を踏まえ、冬期体制を全系統 12 月 1 日からに統一すること

（組合）12 月 15 日以前に除雪が必要となった時、現場は準備できていたが、指令の体制がとれず指示が出せないことがあった。過去の事象を防ぐことが必要である。

（会社）各種対策本部の立ち上げは早くなっている。そのような事象は起こらないという認識である。冬期体制をいつから実施するかは現在検討中である。

E129系ディスクブレーキの抜本的な凍結対策について明らかにすること

（会社）昨年と同様、風よけネットや柵は設置していく。赤外線パネルヒーターを今年も石打駅に設置する。昨冬は暖冬であり効果や車両への影響が把握し切れていない。

車掌の誘導による起動確認について昨冬の評価を明らかにすること

（会社）昨冬は年末年始、センター試験の他気温低下の理由で3回実施した。一昨年は毎日実施し、昨年は必要のない日は取り止めた。現場負担にならないように考えていく。

信越本線（長岡～柏崎）・上越線の架線凍結対策を今冬に踏まえて明らかにすること

（会社）昨冬架線塗油前に凍結が発生したので、今年は 11 月中の塗油を検討している。信越線でのカッター代行運転の条件を検討している。

（組合）4059 運休時に単行を走らせる組合案を昨冬取り入れてもらった。運行できることが分かった。

上越線カッター代行、信越線カッター代行の同時運行に対応できる体制を構築すること

（組合）機関車運行の方が旅客列車に影響しない。検討してもらいたい。

越後線吉田～内野間を新潟 30 km 圏内から除外すること

（会社）問題提起は受け止めている。輸送確保と除雪は分けて考えている。現場からも声が出ており、矛盾は理解している。

簡易型乗用除雪機械「とらん丸」の具体的な運用方法について明らかにすること

（組合）2 年以上ははっきりしない議論である。同じ議論はしないと通告する。

（会社）在り方について検討していく。運搬する業者は決まった。

いかなる環境でも安全と安定輸送を確保する 体制を東日本ユニオンに結集して実現しよう！